

中間評価のための評価軸について（案）

1 評価軸について

愛知県環境学習等行動計画 2030（以下：行動計画）の中間評価を行うための評価軸を、定量的評価及び定性的評価について各々設定する。

2 評価軸の設定及び評価方法

（1）定量的評価

各主体における取組の進捗状況を数値により定量的に評価する。行動計画の各主体に期待される主な取組を評価軸として設定し、令和4年度と平成28年度に実施したアンケート結果を比較することで定量的評価を行う。

アンケート結果のうち、PTAは現計画で追加した主体であり、平成28年度のアンケート結果がないため、評価の対象外とする。

県の取組については、アンケートがないため、各年度第1回の協議会で提示している「愛知県の環境学習等に関する取組について」を活用して、定量的評価を行う。

各主体に期待される主な取組

	主な取組	設問番号
県民	直接体験（身近な自然の体験等）の機会の確保	26
	エコアクションの実践	25
	世代間の学び合い・育ち合い	27
事業者	社員教育の中での環境学習等の実施	2
	事業活動での環境負荷低減を通じた実践的な環境学習等の実施	1
	多様な主体との連携・協働による環境学習等の実施	4
NPO	地域における発展的な環境学習等の実施	1, 3, 5
幼稚園等	発達段階に応じた環境学習の実施 体験学習・問題解決的な学習の充実 ESDの視点を意識した環境教育の実施	1
	多様な主体との連携・協働による環境教育の実施 学校の外へと発展する環境教育の実施	4
	環境教育やESDの推進のための人材育成と研究	3
	学校	発達段階に応じた環境学習の実施 体験学習・問題解決的な学習の充実
ESDの視点を意識した環境教育の実施		3, 4
多様な主体との連携・協働による環境教育の実施 学校の外へと発展する環境教育の実施		6
環境教育やESDの推進のための人材育成と研究		2

	主な取組	設問番号
大学	発達段階に応じた環境学習の実施 体験学習・問題解決的な学習の充実 ESDの視点を意識した環境教育の実施	1
	多様な主体との連携・協働による環境教育の実施 学校の外へと発展する環境教育の実施	4
	環境教育やESDの推進のための人材育成と研究	3
PTA	地域の行事や課題を素材にした環境学習等の実施	2
市町村	地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり	1, 4
	事業体としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施	2
	環境学習等を行う各主体への支援	5
県	地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり	—
	事業体としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施	
	環境学習等を行う各主体への支援	
	県内全域を対象とした環境学習等の推進のための環境づくり	
	環境、環境学習等に関する情報の収集・提供	

(2) 定性的評価

各主体における取組の進捗状況を事業の内容や成果により定性的に評価する。

行動計画の目的である持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を進めるために、以下の事業及び事例についてステップアップ・ワークシートを作成し、一人一人に身に付けることが望ましい「五つの力」が育まれたか否かで定性的評価を行う。「五つの力」の評価軸には、行動計画の指標例を採用する。

五つの力	成果指標例
体感する力	新たな気づきや発見が得られたか等
理解する力	環境問題を自分のこととして捉え、次の疑問や課題を見つけられたか等
探究する力	物事を他の側面から捉え、次の疑問や課題を見つけられたか等
活用する力	自分のすべきことに必要な知識やスキルに気づいたか等
共働する力	他者と共働することの価値を感じられたか等

①毎年度作成している五つの力ごとの代表的な県の5事業

体感する力：もりの学舎ようちえん

理解する力：プラザ環境学習講座

探究する力：高校生環境学習推進事業

活用する力：かがやけ☆あいちサスティナ研究所

共働する力：環境学習コーディネート事業

②令和5年度に調査を実施する主体ごとの取組事例

事業者、NPO、幼稚園等、学校（小、中、高及び特別支援）、大学、PTA、市町村から各1事例